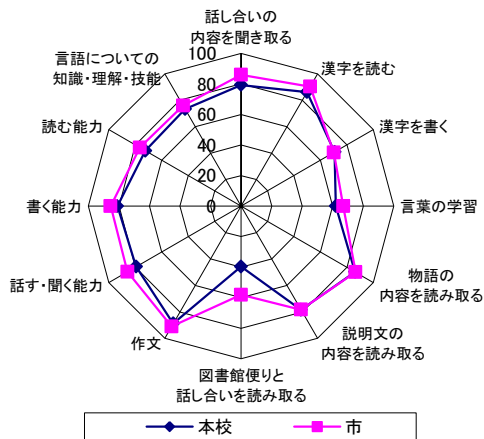


宇都宮市立平石北小学校 第6 学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	79.3	85.9
	漢字を読む	86.2	90.4
	漢字を書く	70.7	70.1
	言葉の学習	62.1	66.9
	物語の内容を読み取る	86.2	86.5
	説明文の内容を読み取る	78.4	78.4
	図書館便りと話し合いを読み取る	39.7	58.1
	作文	88.8	91.0
観点別	話す・聞く能力	79.3	85.9
	書く能力	81.0	85.4
	読む能力	72.4	76.6
	言語についての知識・理解・技能	73.4	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・平均正答率は79.3%と市の平均より低い。「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く」問題では正答率が高いが、「話し手の話し方の工夫を考えながら、話の内容を聞く」問題や、「自分の立場や意図をはっきりさせながら、自分の意見を話す」問題で正答率が低い。	・授業や日常生活の中で、話を聞くときの姿勢や態度、話し手が伝えたいことの中心をとらえて聞くこと、聞きながら大切と思うことをメモする方法について指導を行っていく。また、自分の考えと比べながら聞き、相手の意見に対して、自分の立場や意図をはっきりさせながら意見を話す活動を取り入れていく。
漢字	・「漢字を読む」問題では、平均正答率86.2%、「漢字を書く」問題では、正答率70.7%と、市の平均とほぼ同じである。漢字を正しく読んだり書いたりする力が少しずつ身に付いてきている。	・宿題での反復練習や漢字の小テストの実施により、当該学年の漢字をしっかりと身に付けられるようにする。また、前学年までに習った漢字を意図的に復習させたり、普段から必ず使って書くように言葉かけをしたりして、定着を図っていく。
言葉の学習	・平均正答率は62.1%と市の平均とほぼ同じである。俳句に関する問題の正答率が高いが、3字熟語の構成や敬語の使い方の問題で正答率が低い。	・2字熟語、3字熟語の構成について復習する。また、新出漢字の学習の時、その漢字を使った熟語について学習し、構成について考える場を設ける。敬語については、尊敬語と謙譲語の区別がはっきり理解できるよう復習する。
物語の内容を読み取る	・平均正答率は86.2%と市の平均とほぼ同じである。登場人物の様子を正しく読み取り、登場人物の心情について考える力が身に付いてきている。	・今後も文章を正しく読み、あらすじをとらえたり、登場人物の心情をとらえ、その移り変わりについて考えたりする学習を行っていく。さらに、物語から受けた感想や自分の考えを友達と交流しながら物語文を楽しく読める力を身に付けていく。
説明文の内容を読み取る	・平均正答率は78.4%と市の平均と同じである。文と文のつながりを考えたり、段落のまとまりを考えたりしながら文章の内容を的確に押さえながら読み取る力が身に付いてきている。	・説明的文章を読み取る学習では、段落ごとに文章を読み、重要な言葉や文に着目して要点をとらえたり、段落の内容から段落相互の関係を読み取り文章全体の要旨をとらえる学習を行い、筆者の言いたいことを正しく理解する学習を行っていく。その過程で、接続語に着目させて文と文のつながりにも注意させる。また、筆者の言いたいことに対する感想や自分の考えをもてるように指導していく。
図書館便りと話し合いを読み取る	・平均正答率39.7%と市の平均より低い。資料を正しく読み取り適切にまとめたり、資料と話し合いを正しく読み取ったりする問題で正答率が低い。	・国語だけでなく他教科の学習でも、調べたことや伝えたいことをまとめたりするときはどうまとめたらいかがい考えながらまとめる活動を取り入れていく。
作文	・平均正答率88.8%と市の平均とほぼ同じである。自分の意見とその理由を区別して文章を書く力が身に付いてきている。しかし、「指定された長さで文章を書く。」所での正答率が低い。	・今後も様々な活動の中で、感想や自分の考えなどの文章を書く活動を多く取り入れていく。その際、書きたいことの中心をはっきりさせること、自分の考えとその理由を区別して書くことなどを指導する。